

〈梅雨の合間に〉

梅雨の合間に畑に行くと、いろんな虫が遊びに来ている。

“あっ、オニヤンマだ！”と胸躍らせてスマホを近づける。とりあえず3mくらいのところからズームで拡大して撮る。そして息を止めながら少しずつ少しずつ近づいてシャッターを押す。1枚、2枚、3枚、そこで逃げられた。家に帰って確かめたらどうやら“コオニヤンマ”らしい。どっちでもいい、トンボが飛ぶ畑、いいじゃないか。



キキョウが今真っ盛り、全部で 30 花ぐらい咲いているだろうか。写真を撮っていると花の中に蠢くものが……。ミツバチの仲間だろうか、開いためしべの周りでせっせと蜜を集めているようだ。自家受粉を避けるためのキキョウの戦略に、小さな虫たちが一役買っている。アオムラサキのシースルーの花弁、こんな高貴で悩ましい色に包まれて食事ができる虫たち、羨ましい限りだ。

そして最後の役者は“ショウリョウバッタ”。サツマイモの苗床で日向ぼっこをしていた。ウトウトしているのだろうか、カメラを近づけても逃げる気配はない。とぼけた顔が何ともかわいい。もうかなり大きくなっている個体だ。近くの草むらを歩くと他のバッタに交じって小ぶりの個体は何匹も跳びはねていた。今度は正面からそのとぼけた顔を狙ってみたい。

